

日建連の

# 社会貢献活動



平成 27 年 4 月  
一般社団法人日本建設業連合会

# 総目次

I. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動	1
(1) 文化的建造物の保存協力ボランティア活動	
(2) 寄付活動	
II. 社会貢献活動協議会会員会社の社会貢献活動事例	20
III. 社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例	132

## 社会貢献活動協議会会員会社の社会貢献活動事例

### 【あ行】

あ アイサワ工業株式会社	20
青木あすなろ建設株式会社	22
あおみ建設株式会社	24
株式会社浅沼組	26
安藤ハザマ(株式会社安藤・間)	28
い 伊藤組土建株式会社	30
岩田地崎建設株式会社	32
え 株式会社エム・テック	34
お 株式会社大林組	36
株式会社大本組	38
株式会社奥村組	40
オリエンタル白石株式会社	42

### 【か行】

か 鹿島建設株式会社	44
鹿島道路株式会社	46
株木建設株式会社	48
き 北野建設株式会社	50
く 株式会社熊谷組	52
こ 株式会社鴻池組	54
五洋建設株式会社	56

### 【さ行】

さ 佐藤工業株式会社	58
三幸建設工業株式会社	60
し 清水建設株式会社	62
ショーボンド建設株式会社	64
せ 西武建設株式会社	66
株式会社銭高組	68

### 【た行】

た 大成建設株式会社	70
大成ロテック株式会社	72
大日本土木株式会社	74
大豊建設株式会社	76

株式会社竹中工務店	78
株式会社竹中土木	80
て 鉄建建設株式会社	82
と 東亜建設工業株式会社	84
東急建設株式会社	86
東洋建設株式会社	88
戸田建設株式会社	90
飛島建設株式会社	92

### 【な行】

な 株式会社ナカノフードー建設	94
に 西松建設株式会社	96
株式会社 NIPPO	98
日本国土開発株式会社	100
日本道路株式会社	102

### 【は行】

は 株式会社長谷エコーポレーション	104
ひ 株式会社ピーエス三菱	106
ふ 株式会社福田組	108
株式会社フジタ	110
株式会社不動テトラ	112
ほ 株式会社本間組	114

### 【ま行】

ま 前田建設工業株式会社	116
前田道路株式会社	118
松井建設株式会社	120
株式会社松村組	122
み 三井住友建設株式会社	124

### 【や行】

よ 寄神建設株式会社	126
------------	-----

### 【わ行】

わ 若築建設株式会社	128
------------	-----

以上 55 社

## 社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例

### 【あ行】

あ	株式会社浅川組	……	132
	株式会社新井組	……	133
い	勇建設株式会社	……	134
	株式会社石山組	……	135
	岩倉建設株式会社	……	136
う	株式会社植木組	……	137
お	大林道路株式会社	……	138
	奥村組土木興業株式会社	……	139

### 【か行】

か	株式会社ガイアート T・K	……	140
	株式会社加賀田組	……	141
き	共立建設株式会社	……	142
く	株式会社クボタ工建	……	143
こ	広成建設株式会社	……	144

### 【さ行】

さ	三軌建設株式会社	……	145
し	シーエヌ建設株式会社	……	146
	ジェイアール東海建設株式会社	……	147
	新谷建設株式会社	……	148
せ	仙建工業株式会社	……	149

### 【た行】

た	第一建設工業株式会社	……	150
	株式会社田中組	……	151
と	東亜道路工業株式会社	……	152

### 【な行】

な	南海辰村建設株式会社	……	153
に	日特建設株式会社	……	154
の	株式会社ノバック	……	155

### 【は行】

は	株式会社橋本店	……	156
ひ	菱中建設株式会社	……	157
	株式会社廣野組	……	158
ふ	株式会社藤木工務店	……	159
ほ	株式会社北都組	……	160

### 【ま行】

ま	松尾建設株式会社	……	161
	丸彦渡辺建設株式会社	……	162
	株式会社丸山工務所	……	163
み	宮坂建設工業株式会社	……	164
	みらい建設工業株式会社	……	165
む	村本建設株式会社	……	166
も	株式会社森本組	……	167
	株式会社守谷商会	……	168

### 【や行】

や	矢作建設工業株式会社	……	169
	株式会社ヤマウラ	……	170

### 【ら行】

ら	ライト工業株式会社	……	171
---	-----------	----	-----

以上 40 社

## I. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動

社会貢献活動協議会は、建設業界としての各種の社会貢献活動に関して、寄付要請の受付、要請議案の協議、協力の実施を目的としています。

原則として日建連の正会員である、本会の趣旨に賛同する会社をもって構成しています。

平成27年3月現在 会員55社

アイサワ工業(株)	青木あすなろ建設(株)	あおみ建設(株)
(株)浅沼組	(株)安藤・間	伊藤組土建(株)
岩田地崎建設(株)	(株)エム・テック	(株)大林組
(株)大本組	(株)奥村組	オリエンタル白石(株)
鹿島建設(株)	鹿島道路(株)	株木建設(株)
北野建設(株)	(株)熊谷組	(株)鴻池組
五洋建設(株)	佐藤工業(株)	三幸建設工業(株)
清水建設(株)	ショーボンド建設(株)	西武建設(株)
(株)銭高組	大成建設(株)	大成ロテック(株)
大日本土木(株)	大豊建設(株)	(株)竹中工務店
(株)竹中土木	鉄建建設(株)	東亜建設工業(株)
東急建設(株)	東洋建設(株)	戸田建設(株)
飛鳥建設(株)	(株)ナカノフドー建設	西松建設(株)
(株)NIPPO	日本国土開発(株)	日本道路(株)
(株)長谷工コーポレーション	(株)ピーエス三菱	(株)福田組
(株)フジタ	(株)不動テトラ	(株)本間組
前田建設工業(株)	前田道路(株)	松井建設(株)
(株)松村組	三井住友建設(株)	寄神建設(株)
若築建設(株)		

## (1) 文化的建造物の保存協力ボランティア活動

### 1. 「旧モーガン邸」庭園清掃ボランティア活動

庭園内の枝剪定、竹の切断、草刈り、結束作業 等

<旧モーガン邸とは> (神奈川県藤沢市大鋸 1122)

旧モーガン邸は、昭和 6 年に建てられた建築家 J. H. モーガンの旧邸です。

モーガン亡き後、何人かの手に渡りましたが、平成 17 年に藤沢市と公益財団法人日本ナショナルトラストが取得、復原改修後に一般公開されることになっていました。ところが、主屋部分が平成 19 年、20 年と二度の火災に遭い、かなりの損傷を受けてしまいました。

現在は、毎月 8 日の一般公開をはじめ、第 3 日曜日に清掃活動、季節ごとのイベントなど、修復再生に向けた活動を行っています。

■平成 26 年 5 月 10 日(土) 10:30~12:30

参加人数 50 名 (14 社・47 名、事務局 3 名)



## (2) 寄付活動

No.	要請先	件名
1	一般社団法人日本車椅子バスケットボール連盟	日本車椅子バスケットボール選手権大会費募金
2	公益財団法人日本シルバーボランティアズ	事業費募金
3	一般財団法人スポーツ振興資金財団	事業費募金
4	一般社団法人経済広報センター	通常会費
5	公益社団法人東京青年会議所	わんぱく相撲全国大会費
6	防衛懇話会	事業費募金
7	一般社団法人建設広報協会	国土交通行政推進事業協賛金
8	社会福祉法人いのちの電話	事業費募金
9	公益財団法人日本交響楽振興財団	事業費募金
10	公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団	東日本大震災被災文化財の復旧支援事業募金
11	日本聾話学校後援会	支援金募金
12	日本赤十字社	事業費募金
13	公益財団法人海外日系人協会	事業費募金
14	公益財団法人がんの子どもを守る会	事業費募金
15	一般財団法人産業遺産国民会議	事業費募金
16	公益財団法人世界平和研究所	事業費募金
17	公益財団法人警察協会	救済援護等事業資金募金
18	公益財団法人日本農林漁業振興会	農林水産祭費用募金
19	公益財団法人日本科学技術振興財団	科学技術館50周年・日本科学技術振興財団設立55周年事業 募集特定寄附金
20	職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会	富士教育訓練センター賛助会費
21	国際地学オリンピック2016日本委員会	第10回国際地学オリンピック日本大会会議費募金
22	公益財団法人全国教諭師連盟	事業費募金
	合計（22件）	

## No. 1 一般社団法人日本車椅子バスケットボール連盟

日本車椅子バスケットボール選手権大会費募金（昭和57年度～毎年）

障害者がスポーツを通じて体力の維持増強、機能回復等の向上を図り、明朗快活な性格と協調精神を養うことによって自立更生の充実と明るい生活形成に寄与すると共に、社会の正しい認識を高めることを目的として開催。

第42回大会は全国77チームから予選を勝ち抜いた16チームによるトーナメント戦。

■会 期 平成26年5月17日～18日（2日間）

（優勝：宮城MAX／6大会連続優勝）

■会 場 東京体育館

■出場者 16チーム 240名

写真提供／日本車椅子バスケットボール連盟

### 第42回大会



## No.2 公益財団法人日本シルバーボランティアズ

事業費募金（昭和55年度～毎年）

本財団は、定年到達者の知識、経験を活用し、開発途上地域に対して奉仕隊による技術協力を  
行い、相互理解と友好親善に寄与することを目的としている。

### 【主な事業】

1. ボランティアの登録事業
2. ボランティア派遣（毎年100名前後）
3. シニア海外ボランティア派遣事業の受託
4. 内外事情の調査研究および広報
5. 海外技術協力に係る内外諸機関との協力

写真提供／日本シルバーボランティアズ



スリランカ・ケラニア大学の学生  
との交流



中国・河北省にて野菜栽培指導

### No.3 一般財団法人スポーツ振興資金財団

事業費募金（昭和43年度～毎年）

本財団は、日本体育協会が実施する「国民一人一人がスポーツを通して健康な身体と健全な精神を養う」ことを目的とした国民スポーツ振興事業と、日本オリンピック委員会が実施する選手強化事業を支援するための、募金活動を推進している。

#### 【事業】

#### 1. 国民スポーツ振興事業

- ①国民体育大会等事業 ②スポーツ指導者・組織育成事業 ③国民スポーツ推進PR事業
- ④スポーツ顕彰事業 ⑤スポーツ国際交流事業 ⑥青少年スポーツ育成事業 ほか

#### 2. 選手強化事業

- ①アジア競技大会選手団派遣事業
- ②ユニバーシアード冬季競技大会 他

写真提供／スポーツ振興資金財団、日本体育協会



長崎国体

写真提供：オールスポーツコミュニティー



全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

## No. 5 公益社団法人東京青年会議所

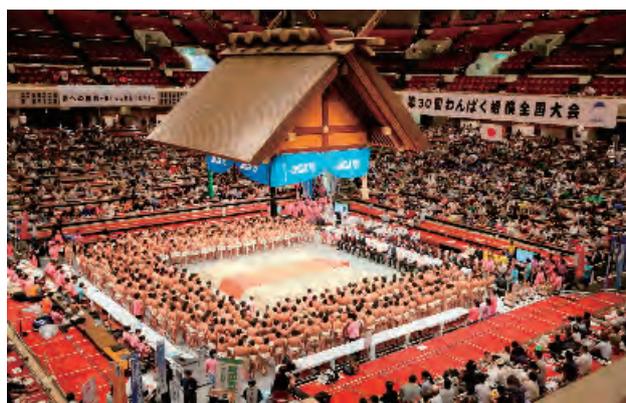
わんぱく相撲全国大会費募金（昭和62年度～毎年）

子供たちが、「スポーツとしての相撲」を通じ、心身の鍛練と健康の増進を図ることなどを目的に開催。全国各地の青年会議所の協力のもとに、地区大会を開催し、7月末に全国大会を行う。

### ■第30回わんぱく相撲全国大会

1. 地区大会 平成26年4月～5月  
200大会、約4万人参加
2. ブロック大会 平成26年6月  
15地域で開催、約1万人参加
3. 全国大会 平成26年8月3日 於：両国国技館  
出場選手 450名（150チーム）

写真提供／東京青年会議所



第30回大会

## No.9 公益財団法人日本交響楽振興財団

### 事業費募金（昭和48年度～毎年）

交響楽の振興と普及を図るため、わが国を代表する交響楽団の演奏会や各地のアマチュアオーケストラの演奏活動を助成している。

#### ■「巡回公演」について

交響楽の魅力を広く知ってもらうため、わが国を代表するプロの交響楽団が各地に出向いて、「巡回公演」を実施している。青少年や高齢者も気楽に聴けるように、入場料は通常のコンサートに比べかなり低く設定している。本年度は10の交響楽団が12カ所で実施した。巡回公演に合わせて、「楽器演奏クリニック」を実施している。これは、小中高校の吹奏楽部等で演奏している児童生徒に対して、オーケストラの奏者が直接実技指導するプログラムで、こうした機会はめったにないことから、高い評価を得ている。2014年度は6カ所で開催した。

#### ■「アマチュアオーケストラの活動支援」について

地域の文化創造活動にとって欠かせない存在であるアマチュアオーケストラの助成も行っている。2014年度は石巻市民交響楽団（宮城県）、福島市民オーケストラ、八幡市民オーケストラ（京都府）、大津管弦楽団（滋賀県）、山梨交響楽団・山梨県民第九管弦楽団の5つの演奏会を支援した。

#### ■小学校でのワークショップ等の開催

兵庫県姫路市の糸引小学校と前之庄小学校において、ミニコンサート（2回）とワークショップ（11回）を開催した。実施期間は2014年5月～12月で、大阪フィルハーモニー交響楽団が演奏と指導を行った。

写真提供／日本交響楽振興財団



巡回公演（豊橋公演）



楽器演奏クリニック（松江公演）

## No. 10 公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団

東日本大震災被災文化財の復旧支援事業募金（平成24年度～毎年）

東日本大震災により被災した文化財の復旧支援のため、平成24年度から5年間に渡り、毎年1億円（合計5億円）規模の文化財修復助成事業を行う。

助成は、年度ごとに被災した各都道府県の教育委員会から被災文化財修復計画の申請をもらい、財団内の事業委員会で審査の上、決定し実施する。

### 【助成対象】

東日本大震災により被災した文化財の修理、復旧等にかかわる事業

- (1) 国の登録文化財
- (2) 都道府県、市町村の条例に基づく文化財
- (3) 指定等されていないが、(1)(2)に準ずる価値のある文化財

### 【平成26年度 文化財復旧支援事業】

助成件数 27件（美術工芸品2件、建造物21件、無形文化財2件、記念物・埋蔵文化財2件）

助成額 2,390万円

※申請件数：38件（美術工芸品2件、建造物30件、無形文化財2件、記念物・埋蔵文化財4件）

写真提供／文化財保護・芸術研究助成財団



石巻市雄勝・天雄寺観音堂



気仙沼・尾形家



福島市・佐藤家住宅味噌蔵  
(国登録文化財)

## No. 1 1 日本聾話学校後援会

支援金募金（昭和50年度～毎年）

本校は、故・米国駐日大使ライシャワー博士の両親によって創設された我が国唯一の「聴覚主導の人間教育」を行う私立聾学校である。聴覚障害児に乳幼児からの早期教育と保護者への支援を行っている。この教育を支援するための後援会組織。

所在地 町田市野津田町

生徒数 104人（2015年2月1日現在）

- ・乳幼児部 37人
- ・幼稚部 25人
- ・小学部 28人
- ・中学部 14人

写真提供／日本聾話学校後援会



毎朝の補聴器・人工内耳チェック



幼稚部 グループの時間

## No. 1 2 日本赤十字社

事業費募金（平成19年度～毎年）

日本赤十字社は創立以来、世界186カ国の国際赤十字の一員として今日まで130年にわたって、赤十字の理想とする人道的任務を達成するため、地震・風水害等の災害救護、救急医療事業、血液事業、海外での災害・紛争犠牲者に対する国際救援活動など、さまざまな事業の推進に努めてきました。

今後発生が予想される東海、東南海、首都直下地震などの広域災害に対し、準備を整え、迅速かつ的確な救護活動が展開できるよう緊急対応仮設診療所などの災害救護設備の拡充を図ります。

### 【主な事業】

1. 国内災害救護
2. 国際活動
3. 赤十字病院（医療事業）
4. 看護師などの教育
5. 血液事業
6. 救急法などの講習
7. 社会福祉
8. 青少年赤十字
9. 赤十字ボランティア

写真提供／日本赤十字社



救急法などの講習



救護所で看護する日赤看護師

## No.14 公益財団法人がんの子どもを守る会

事業費募金（昭和52年度～毎年）

本財団は、昭和43年10月に小児がんで子どもを亡くした親たちによって、小児がんが治る病気になってほしい、また小児がんの子どもを持つ親を支援しようという趣旨のもと設立され、子どもの難病である小児がんに関する知識の普及、相談、調査・研究、支援、宿泊施設の運営、その他の事業を行い、社会福祉及び国民保健の向上に寄与することを目的としている。

### 【主な事業】

1. 小児がんに対する知識の普及・啓発
  - (1) 公開シンポジウム・絵画展
  - (2) ゴールドリボン推進活動
2. 小児がんに関する相談事業
3. 小児がんに関する調査・研究事業
4. 小児がん等難病に関する宿泊施設運営事業
5. 小児がんに関する支援事業 等

写真提供／がんの子どもを守る会



患児のための夏キャンプ



国際小児がんの日（ICCD）の啓発活動

## No. 15 一般財団法人産業遺産国民会議

事業費募金（平成25年度～毎年）

政府は、平成25年9月20日「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」として、8県11市に跨る28の産業遺産ならびに民間の産業設備を、ユネスコの世界遺産として登録すべく推薦を決定。本世界遺産登録の実現を支援するために、平成25年9月10日「一般財団法人産業遺産国民会議」を設立。

平成26年1月17日の閣議において「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」について、推薦書正式版をユネスコ世界遺産センターに提出することを了承。

2014年7月14～15日には、内閣官房、九州・山口近代化産業遺産世界遺産推進協議会と連携して、諸外国より産業遺産の保全の専門家を招いて、産業遺産の新しい保全の在り方を模索するための産業遺産国際会議を開催。同会議においては、産業遺産の保全に関して、経験豊富な専門家が各国における取組を紹介しながら、産業的景観や資産の保全に関わる主要な問題を取り上げた。シリアルの保全への取り組み、現役の産業設備の官民パートナーシップ、および廃墟への対応などについての活発な議論が行われた。

写真提供／産業遺産国民会議



7月14～15日開催 産業遺産国際会議

## No.18 公益財団法人日本農林漁業振興会

農林水産祭費用募金（昭和52年度～毎年）

本振興会は、農林水産祭の実施等により、全国民の農林水産業に対する認識を深め、農林水産業者の技術及び経営の振興を図り、これによって農林水産業の生産性の向上及び農林水産業者の所得の増大を通して国民経済の発展に寄与することを目的とする。

### 【主な行事（事業）】

1. 農林水産大臣賞表彰審査、天皇杯等三賞選賞審査、選考（8月～7月）
2. 実りのフェスティバル（10月31日～11月1日  
於：池袋サンシャインシティ4F展示ホールA）
3. 農林水産祭式典（11月23日、於：明治神宮会館）
4. 優秀農林水産業者に係るシンポジウム（12月4日、2月18日、2月27日）
5. 農林水産祭天皇杯受賞者、皇后両陛下とのご面会（1月21日 於：皇居）

写真提供／日本農林漁業振興会



「第53回実りのフェスティバル」の天皇杯コーナーをご視察される秋篠宮同妃両殿下



第53回農林水産祭式典において挨拶される小泉昭男農林水産副大臣



第53回農林水産祭式典において喜びの天皇杯受賞者

## No. 19 公益財団法人日本科学技術振興財団

科学技術館50周年・日本科学技術振興財団設立55周年事業寄附

本財団は、わが国の科学技術水準向上に寄与することを目的に、政府・経済界・学界ほか関係機関の総意をもって1960年に設立され、その中核的施設である科学技術館が1964年に開館。

科学技術の振興に関する調査研究等をすすめ、科学技術の普及や教育支援、ものづくり人材の育成など、科学技術館を利用した様々な取り組みを進め、わが国の高度経済成長と今日の経済社会を支える礎として大きな役割を果たしてきた。

2014年は科学技術館の開館50年、2015年は財団設立55年にあたり、「ニッポンの産業技術50年」を中心とした多彩なイベントを実施するとともに、科学技術館が、今後とも科学や技術に対する知的好奇心を生み出す場であり続け、また来館者が快適に過ごせるよう、環境基盤整備事業（リニューアル）を実施する。

写真提供／日本科学技術振興財団



ものづくりの部屋  
【ワークショップ「レーザーオリジナル定規」】



夏の特別展「海！」  
【ワークショップ「触って探る！海の生き物の不思議」】



開館50周年記念イベント  
【米村でんじろうサイエンスショー】

## No.20 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会

富士教育訓練センター賛助会費（平成9年度～毎年）

富士教育訓練センターは、建設現場で直接「ものづくり」に携わる建設専門工事会社、設備会社、建設関連業団体（建設専門業団体）等22団体の賛同により、優れたものづくりはまず「人づくり」からと強い信念の元、平成9年4月に静岡県富士宮市の旧建設省（現国土交通省）建設大学校朝霧校跡地に開校した、建設技術者・技能者の教育訓練施設。

当センターで行う教育訓練は単なる職業訓練や教室での学習、勉強ではなく、現場に即した技術・技能はもちろん、社会人としてのマナー教育も行う「人づくり」プランを提供。

技術、技能、新入職者、測量、多能工、資格検定対策、資格取得、一級・二級技能士、リフォーム等、様々な訓練コースで生徒を募集。

写真提供／全国建設産業教育訓練協会



3階建て鉄骨躯体教材による実習



タイル張り実習



型枠実習



左官施工実習

## No.21 国際地学オリンピック2016日本委員会

### 第10回国際地学オリンピック2016日本大会会議費募金

国際地学オリンピック(IESO)は、国際地質科学連合(IUGS)の下部組織(COGE)がその活動を支援するInternational Geoscience Education Organization(IGEO)の主要活動として創設された中・高校生のための地学コンペティション。

IGEOには、アメリカ合衆国、オーストラリア、イギリス、日本など世界22カ国が加盟しており、多くの中・高校生に地学に触れるきっかけを与え、地球惑星科学分野において才能ある生徒を見出し知的レベルの向上を図ること、地球科学分野と地学教育の発展に寄与する事を目的としている。

#### 【日本大会開催概要】

会期 平成28年8月20日～28日(9日間)

写真提供／国際地学オリンピック



国際地学オリンピック2016日本大会

## No. 2 2 公益財団法人全国教諭師連盟

事業費募金（平成7年度～毎年）

本財団は、教諭師が矯正施設において被収容者に対し精神的・倫理的・宗教的な教諭活動を円滑に行えるよう支援することを本旨としている。

教諭は自己の信ずる教義に則り、宗教心を伝え被収容者の徳性を涵養するとともに、心情の安定を図り、被収容者には自己を洞察して健全な思想・意識・態度を身につけさせ、同時に順法の精神を培い、更生の契機を与える。もって、矯正の実を上げ、社会の安定に寄与することを目的とする篤志宗教家の全国的組織である。

### 【主な事業】

1. 宗教教諭に関する調査及び研究
2. 教諭活動を充実発展させるための支援及び能力開発
3. 関係官庁、教宗団及びその他の関係機関との連絡調整並びに教諭活動に関する提言
4. その他公益目的を達成するために必要な事業

写真提供／全国教諭師連盟



第49回教諭師中央研修会



第49回教諭師中央研修会分科会



研修会記録誌